



宇出津発祥の伝承娯楽「ごいた」

1月15日、能登町無形民俗文化財に指定される



出津地区で昔から親しまれてきた伝承娯楽「ごいた」が、1月15日に能登町無形民俗文化財に指定されました。文化財指定書交付式は、2月8日に行われ、能登ごいた保存会の役員ら8人が能都庁舎を訪れました。「ごいた」は天保年間から伝承されている娯楽で、将棋に似た駒32枚を使い、4人が「しりとり」のように駒を出していきます。向かい同士が味方となり、奥深い駆け引きや読み合いをしながら楽しめます。

この伝承娯楽を保存・普及するために昭和52年から宇出津公民館が毎年正月に新春ごいた大会を開催するようになりました。また平成11年に



田下教育長から文化財指定書を受け取る能登ごいた保存会会長の洲崎一男さん

今後の普及、発展に弾み

は、数人の有志によって「ごいた保存会」が結成されました。保存会設立時にはエンデバーファンド21の助成を受け、現在は会員数約70人、年6回の大会やごいた教室の開催、ごいた番付の発行など精力的に活動しています。

文化財への指定にあたり、町文化財保護審議委員会の山田芳和会長から「ごいたは、ほかの地域にはないユニークな娯楽で広く愛好されています。将来にわたって普及してもらいたい」と話しました。能登ごいた保存会の洲崎一男会長は「多くの人がごいたを知ってもらおう活動を続け、町の発展に寄与したい」と今後の抱負を語りました。



ごいたの駒



広報のと 第37号

平成20年3月1日発行

発行・能登町 編集・広報情報推進課
〒927-0492 石川県鳳珠郡能登町宇出津新1字1-9-7番地1

☎: 0768-62-11000(内) 1P ☎: 0550-2016-1111
能登町 URL: <http://www.town.noto.shikawa.jp>
Eメール: info@town.noto.lg.jp

広報のと No. 37 2008.3
能登



世界で一つだけ
オンリーワンの卒業証書

3

平成20年